

『みんなの力で命と暮らしを守る』

今年も河川の出水期に備えましょう！

風水害への備えは大丈夫ですか？

少しでも危険を感じたら早めに避難を開始しましょう！

6月に入り、今年も出水期を迎えました。昨年8月の台風9号では、兵庫県西部、北部を中心に被害が発生し、市内でも、日高・但東地域で大きな被害を受けました。

特に、梅雨の時期が終わるころは、太平洋高気圧の勢力が強くなり、暖かく湿った空気が大量に前線へと流れ込むため、雲が急激に発達し、最近多発しているゲリラ豪雨といわれる集中的な豪雨が起きやすくなります。

市民の皆さんも、少しでも被害が軽減できるよう、過去の災害からの教訓を踏まえながら、日ごろから防災意識を持ち、家庭や地域での「備え」に努めましょう。

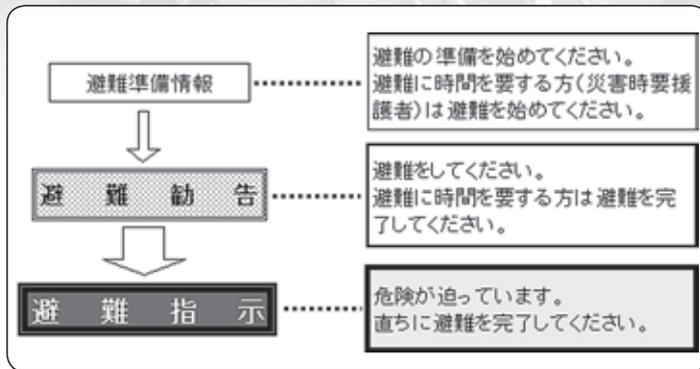
《問合せ》防災課防災係 ☎23-1111

市の避難情報を 正しく理解しましょう

市では、国土交通省、気象庁、兵庫県、市と契約している専門の民間気象会社などの情報を総合的に判断し、災害の発生が予想される場合には、避難情報を出します。

具体的には、災害の危険が高まると、事前に「避難準備情報」を発令します。その後さらに危険が迫ると「避難勧告」、さらには「避難指示」を発令します。「避難指示」が発令された場合は、緊急度が一番高い状況となります。出水期前に避難情報の再確認をお願いします。

また、台風などの接近時に、河川や田畑の様子を見に行ったり、近づいたりすることは大変危険ですので、絶対にしないでください。



排水ポンプを停止することがあります

大雨や台風などによる河川の増水時は、内水被害軽減のため、排水ポンプを稼働しますが、立野地点の水位が、堤防の一番上まであと1.5メートルに迫る7・16メートルを越え、さらに上昇の恐れがある時は、堤防の決壊からまちを守るため、排水ポンプを停止することになっています。

出水期に「備え」するための大切なポイント

防災情報を確認する

市内の雨量情報や河川の水位情報、その他必要な情報を入手しましょう。

テレビ・ラジオ

台風などの進路予測、気象予報・警報などが入手できます。

防災行政無線放送

台風情報をはじめ、市内の雨量情報や河川の水位情報・避難情報などをお知らせします(聴覚障害者へは、ファックスで放送内容をお知らせします)。

※被害発生の恐れがある時は、防災行政無線の戸別受信機

【出水期とは...?】

6月から10月にかけて、集中豪雨(梅雨)や台風により、河川が急に増水し、洪水を起こしやすい時期のこと。この出水期以外に、2月～3月の雪融け時期には、河川が急に増水することもありますので、注意が必要です。

を高い所や2階へ移動するなどの対応をお願いします。

■とよか防災ネット

携帯電話で、左記のアドレスから「お知らせメール」の登録を行うと、市からの防災情報メールが届きます。※とよか防災ネット(携帯電話)アドレス <http://bosai.net/toyooka/>

■川の防災情報

国土交通省の河川情報などが入手できます。 ※ホームページアドレス <http://www.river.go.jp/> ※携帯電話用アドレス <http://river.go.jp/>

■円山川防災情報

携帯電話で、左記アドレスから「防災情報配信サービス」の登録を行うと、国土交通省豊岡河川国道事務所から防災情報メールが届きます。

※円山川防災情報(携帯電話)アドレス

■その他

防災関連の情報は、気象庁や市などのホームページでも入手できます。皆さんも積極的に情報収集に努めてください。

【気象情報発表区分の変更】

気象庁が発表していた気象などの警報・注意報は、これまでは、兵庫県北部などの区分での発表でしたが、平成22年5月27日から、各市町村単位での発表に変更されました。(ただし、テレビやラジオなどは、これまでの区域名で発表する場合があります)。

非常持ち出し品の確認

風水害時、市の避難情報が発令された場合、市では、避難する方が食料などの「非常持ち出し品」を持参することを原則としています。いざというときに備え、各家庭で、3日分の飲料水・食料・生活必需品の備蓄に努めてください。

【主な非常持ち出し品】

- ・食料(非常食など)、飲料水
- ・毛布、衣類、下着類、軍手、

タオルなど

- ・懐中電灯、ラジオ、電池
- ・救急セット、貴重品、現金
- ・ライター、マッチ
- ・必要に応じてティッシュ、哺乳びん、紙おむつなど

避難所の確認

風水害が発生したとき、市が指定する避難所は、市内に248カ所あります。

あらかじめ、市防災マップや市ホームページで最寄りの避難所の位置を確認し、避難経路も、実際に歩いておきましょう。



■災害の発生またはその恐れがあるとき

- ・警察や消防団、区、自主防災組織の誘導・指示に従う
- ・避難する際、自宅の電気やガスなど火元を確認する
- ・避難途中の浸水、土砂災害の危険性に注意する
- ・緊急車両の通行や災害対応の妨げにならないよう、車での避難は控える



▲災害時避難所標示板

避難が遅れた場合は建物の2階以上へ！

浸水時に、水の深さがひざの高さを上回ると、避難するのは非常に危険です(それ以下の高さでも、水の流れによっては歩行が困難になります)。

万一、浸水時に、避難所への移動が困難な場合は、自宅の2階以上へ避難するか、近くの丈夫な建物の2階以上へ一時退避することが大切です。また、避難が夜になり、すでに浸水が始まっている場合は、特に注意が必要です(むやみに指定避難所へ移動するのは危険を伴います)。

災害時要援護者の避難に協力しましょう！

皆さんの地区内にお住まいのお年寄りや子ども、病気の

方などは、早めの避難が必要です。このため、災害時要援護者の避難について、地域みんなで協力をお願いします。

土砂災害から身を守りましょう

出水期には、山間部などで「土石流」「地すべり」「がけ崩れ」が発生しやすくなります。

■土砂災害発生の前兆

- ・雨の降り方が異常
- ・急に川の水が濁る
- ・裏山からの変な音(地鳴りなど)や土臭いにおい
- ・がけの亀裂や水が噴き出す
- ・がけから小石がパラパラ落ちる

市民の皆さんには、防災行政無線などを通じて注意を呼びかけますが、少しでもおかしいと感じたときは、早めの自主避難をお願いします。



▲平成21年台風9号災害(但東町天谷)

「防災啓発放送」の実施

市では、市民一人ひとりの防災力の向上を図るため、コミュニティFM放送「FMジャングル(76.4メガヘルツ)」を通じ、防災啓発のための放送を7月から開始します。

▼タイトル

「防災ワンポイント」

▼内容 防災の専門家などをゲストに、地震・風水害・土砂災害など、防災や減災に役立つ情報を提供(約5分)

▼放送日時 毎週月～金曜日 午前8時5分～午後6時(再放送)

※防災行政無線などでも提供します。

市民の皆さんを守り、助けるため、市は全力を尽くしますが、圧倒的な自然の脅威の前では、行政にも限界があります。市の地域防災計画は「みんなの力で命と暮らしを守る」を合言葉にしています。災害時は「自分の命は自分で守る」という強い気構えを持ち、家族、隣近所、地域で連携し、助け合いましょ。

